

第13回

[日 時] 平成29年12月16日（土）18:30-20:30

[場 所] 石巻専修大学5号館3階学生ホール

[テーマ] 世界に誇れる石巻地域にしよう - 発信！未来へ -

[使用したテキスト] 『耕人』 第7号.pdf（塾長から塾生へのメッセージ）

[活動内容詳細]

●塾長挨拶（木村塾長）

第6期『耕人塾』も今回で最後の研修になり、本日の「閉塾式」を迎えられたのは、この活動を支えてくれているサポーターの方々を含め、様々な人が関わり合って成り立っていることについてお話されました。



挨拶の最後に、“人生不変の四つの真理”（1.人間は必ず死ぬ。2.自分の人生は自分でしか歩めない。3.人生は一度きりである。4.自分という人間はこの世で一人しかいない。）についてお話され、人生は一度きりなので、かけがえのない自分を磨くと同時に、かけがえのない周りの人をも大切に、地域に貢献してほしいことを伝えて激励しました。

●本日の流れについて（平塚指導委員長）

●第6期耕人塾を振り返って【5分】

修了証授与の後に、1分以内でスピーチする内容の検討を各自行いました。

<テーマ「耕人塾で得たもの」>

【スピーチ内容の例】

- ・学んだこと
- ・自分自身が成長したと思うこと
- ・今後取り組もうと思っていること
- ・印象に残っていること
- ・「世界に誇れる石巻地域」について考えていること
- ・これからの耕人塾について

●修了証授与



塾長から修了証を授与され、引き続き耕人塾で得たことなど1分以内で堂々と発表する塾生

【塾生の主なスピーチ内容】

- 仲間と共に考えたり、皆の前で発表したりする活動を通して、物事を前向きに考えられるようになりました。
- 「人との繋がり大切さ」を学びました。
- 自分から活動に積極的に取り組めるようになりました。
- ゴミ拾い活動を通して、考えたことを行動に移すことの大切さと仲間と力を合わせて活動することの大切さを学びました。
- 講師の先生の話の聞いたり、プロジェクトKやゴミ拾い活動に参加したりして、石巻が今まで以上に好きになりました。
- ゴミ拾い活動に参加した時に、地域の方から「ありがとう。」「お疲れ様。」などと声をかけていただき、そこから会話が弾んだ。実践活動を通して、「人との関わることの大切さ」を学びました。
- 人とかかわる中でそれまで自分が考えてこなかったことを考えることができました。これからは「かかわり」を大切にして、自分でも交流の「場」をつくっていきたいです。
- 自分から積極的に行動することの大切さを学びました。ゴミ拾いをして地域の方から感謝されたのが嬉しかったです。
- これまでは自分の挨拶に対する気持ちが欠けていました。これからは石巻を挨拶であふれる町にする勢いで自分から挨拶をしていきたいです。
- いろいろな人との交流を通じて、コミュニケーションの大切さを改めて知ることができました。
- 川開き、ゴミ拾い活動など地域の人のために活動するのは難しいと思っていましたが、自分のできることはたくさんあること知りました。
- 耕人塾に入る前は人とかかわらないようにしてきましたが、徐々にかかわりが生まれてきました。川開きのごみの量がすごかったので、自分なりにできることを今後も続けていきたいです。
- 自分たちの地域をみんなと交流しながら善くすることは楽しいと知りました。
- 今期で4回目となりますが、昨年以上に話し合いの中で発言できました。また実践活動にも積極的に参加できました。その中でも中学生の発言に心を動かされました。来年も参加したいです。
- 1年間の活動を通して、「文・武・楽三道」を学ぶことができました。これを今後生かしていきたいです。

- ・自分が住む石巻に誇りを持てるようになりました。また石巻、日本の良さを知ることができました。今後はそれらを外国に発信していきたいです。
- ・1年の活動を通して、人々とのかかわり方を学びました。将来に活かしていきたいです。
- ・「あいさつ」をすることは人や場をつなぐことにつながることを学びました。おもいきって自分からあいさつをすることで、友達がたくさんできました。今後は、地域の方々にも自分からあいさつをしていきたいです。

●講評（舩田副運営委員長）



塾生のスピーチをもとに、講評する舩田副運営委員長

舩田副運営委員長から、以下3点について講評をいただきました。

(1) 成長

- ・一人一人の言葉から成長を感じた。
- ・人との関わり、コミュニケーションなど耕人塾だからこそ学べたこともある。

(2) 誇り

- ・塾生として誇りを持ってほしい。周りからも誇りに思われている。
- ・自分自身の中で葛藤もあり、打ち勝った人もいる。
- ・納得していない人もいるが、様々な機会で克服してほしい。
- ・参加が目的ではなく、生かすことが自分の人生にとってプラスになる。

(3) 夢

- ・いろいろな人と関わって、将来についてのイメージがおぼろげにでも見えてほしい。
- ・将来どのようになりたいか、石巻を支える人になってほしい。
- ・夢あるものに目標あり、目標あるものに計画あり、計画あるものに行動あり、行動あるものに成果あり、成果あるものに喜びあり。

●記念撮影



●第6期修了記念パーティー【45分】

- ・第6期修了を喜び、乾杯する木村塾長、平塚指導委員長と塾生たち



- ・実践活動や宿泊活動などを振り返り、歓談する塾生や運営委員、指導委員
- ・閉塾式を参観された塾生の保護者も参加され、「挨拶が積極的にできるようになった」ことや「自分の考えを進んで述べるができるようになった」「社会性が育ってきた」ことなど、ご感想をいただきました。

●閉会の挨拶（横江運営委員長）

横江運営委員長から、耕人塾で学んだことを誇りに思い、耕人塾の修了生として活動の輪を広げ、一期一会を大切に精進して欲しいこととお話しました。最後に、修了のお祝いに次の詩を朗読し、締めくくりました。

『一秒の言葉』（小泉吉宏）

「はじめまして」

この一秒ほどの短い言葉に、一生のときめきを感じることもある。

「ありがとう」

この一秒ほどの短い言葉に、人のやさしさを知ることがある。

「がんばって」

この一秒ほどの短い言葉に、勇気がよみがえってくることもある。

「おめでとう」

この一秒ほどの言葉に、幸せにあふれることがある。

「ごめんなさい」

この一秒ほどの短い言葉に、人の弱さを見ることがある。

「さようなら」

この一秒ほどの短い言葉が、一生の別れになるときがある。

一秒に喜び、一秒に泣く。 一所懸命、一秒。

メニュー

ホーム

耕人塾の活動

令和2年度の活動

令和元年度の活動

平成30年度の活動

平成29年度の活動

第1回

第2回

第3回

第4回

第5回

第6回

第7-8回

第9回

第10回

第11回

第12回

第13回

番外編 実践活動

学生部

平成28年度の活動

平成27年度の活動

平成26年度の活動

平成25年度の活動

平成24年度の活動

報道・受賞